

「花と名水 美しい色の山梨」「山梨・中央線」キャンペーン成果報告

平成22年7月23日

- 本年のゴールデンウィーク期間中の観光客数は290万人と、平成21年を3.5%上回っており、キャンペーンの手応えを感じている。

【参考】

○ 県内観光客実人数（山梨県観光客動態調査結果）

平成18年 4,404万人

うち4～6月 1,077万人

平成19年 4,829万人(対前年比+9.6%)

うち4～6月 1,197万人(対前年比+11.1%)

平成20年 4,753万人(対前年比△1.6%)

うち4～6月 1,200万人(対前年比+0.3%)

平成21年 4,714万人(対前年比△0.8%)

うち4～6月 1,223万人(対前年比+1.9%)

- また、キャンペーンでは花と名水をテーマにした、魅力的なイベントが多数実施された。

- ・JR東日本のイベント列車 70本運行 約1万2千人が乗車
- ・JR東日本「びゅう商品」実績 約2万2千人を送客
- ・駅からハイキング(JR東日本) 7本 約1,600人が参加
- ・さわやかウォーキング(JR東海) 5本 約2,200人が参加
- ・信玄公祭り(過去最高だった平成19年に次ぐ10万1千人の人出)
- ・富士芝桜まつり(今年の36万人を大きく上回る43万人の集客)
- ・笛吹市桃の花まつり(31万9千人の集客)
- ・山中湖村花の都まつり(2万7千人の集客)
- ・ハイジの村バラまつり(4万9千人の集客) など

○ 併せて、やまなし観光推進機構において、花の名所や名水スポットなどを巡り山梨県の魅力を体感していただく着地型旅行商品を多数造成し、多くの方々に参加していただいた。

- ・信玄公まつり特別企画！信玄ゆかりの地めぐり
- ・桜の花バスツアー
- ・花鳥風月を感じ、耳を傾け、味わう旅
- ・南アルプスの絶景と新緑の旅 in 南アルプスフェスタ
- ・西沢渓谷で森林セラピー体験 など

○ さらに、JRとの協働による観光キャンペーンの実施は、本県観光の進展に大きな効果を生み出しており、今後も、これまで構築された官民協働のノウハウを活かした取り組みを行う。

○ JRとの今後の協働

- ・今後もJR東日本と協働したキャンペーンの実施について検討・協議していく。
- ・県東部地域における、駅を基点とするトレッキングコース等を活用した誘客促進事業に、県、大月市、上野原市とJR東日本で協働して取り組んでいく。
- ・JR東日本では、着地型びゅう商品「旅市」や、少人数限定のこだわりコース「山梨プレミアム」を平成21年度から発売。現在、「ワインの里で記念日に輝く思い出の旅」や「南アルプス完熟フルーツこだわり探訪(1日20名限定)」を発売中。今後も、JR東日本では、山梨の魅力を味わう旅行商品を増やしていく予定であり、(社)やまなし観光推進機構で情報提供や商品設定の相互協力などを行っていく。